壁・天井・床

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

浴槽
風呂フタ
追いだき口（循環口）
浴槽排水口
浴槽機器
壁
天井
床
床排水トラップ
ドア
鏡
握りバー タオル掛
収納部 カウンター
水栓
照明
換気扇 暖房機

6 壁

スポンジ　洗剤（中性）

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2〜3分おき、スポンジでやさしくこすります。

（Lパネル）

（タイルパネル）

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

注意

目地やコーキング材を硬いものでこすらないでください。
※切れたり、はがれて漏水する恐れがあります。

目地やコーキング材が切れたり、はがれている場合は、修理を依頼してください。（P.46参照）
※漏水する恐れがあります。

◆タイル目地のお手入れ（カビが生えているときは）

汚れが目立ってきたら

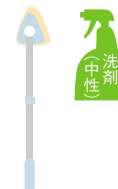
カビ取り剤

タイル目地やコーキング材にカビが生えているときは、カビ取り剤をお使いください。

※カビ取り剤や防カビ剤を使用する場合は、以下の点に気をつけて正しくお使いください。
- ●注意書きをよく読みます。
- ●マスク、ゴム手袋、保護メガネを着用し、窓を開けるか換気扇を回してください。
- ●肩より高い場所にはカビ取り剤を直接スプレーしないでください。
- ●長時間放置したり、洗剤を残さないでください。

7 天井

洗剤（中性）

1. 柄付のスポンジ等に浴室用合成洗剤（中性）を付け、やさしくこすります。

2. 洗剤が残らないように、湿らせた布でふきとります。

注意

目地やコーキング材を硬いものでこすらないでください。
※切れたり、はがれて漏水する恐れがあります。

目地やコーキング材が切れたり、はがれている場合は、修理を依頼してください。（P.46参照）
※漏水する恐れがあります。

※コーニス照明の場合は、凹部もお掃除します。

豆知識　重曹やお酢（クエン酸）は使ってもいいの？

雑誌等で環境にやさしい洗剤として紹介されている重曹や酢（クエン酸）。
実は浴室を傷めてしまうことがあるのです。お掃除に使うときはご注意ください。

●重曹

重曹は水に溶けると弱アルカリ性になり、酸性の汚れ（皮脂や湯アカ等）を中和して落とす効果と、マイナスイオンの働きで汚れを洗い流しやすくする効果があります。

★使い方（例）
水１：重曹２〜３程度を混ぜ、ペースト状にしてクリームクレンザーの代わりに。
また、２００mlの水に重曹大さじ１杯程度を混ぜ、浴室用合成洗剤の代わりに使います。
使用後はよく洗い流します。

●お酢・クエン酸

酢水やクエン酸水は弱酸性で、アルカリ性（石けんカス、水アカ等）の汚れを中和して落とす効果があります。また、雑菌の繁殖を抑える、消臭効果等があるといわれています。
※調味酢、すし酢等砂糖やみりんを含むもの、果実酢は使わないでください。

★使い方（クエン酸水）（例）
２００mlの水にクエン酸小さじ１杯程度を混ぜ、浴室用合成洗剤の代わりに使います。使用後はよく洗い流します。

●ココに注意
- ・浴槽・床やアルミ等の金属、メッキ部品には使わないでください。
また、他の部分でも長時間放置したり、洗い残しがないようにしてください。
（変色やサビの原因になることがあります）
- ・重曹・お酢・クエン酸は、使う前に目立たないところで変色やキズ等のないことを確認してください。
- ・重曹は素手で扱うと皮膚に刺激を受けることがあります。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

8 床

週に1回

FRP床にリンス等の成分がこびり付くと水はけ性能が落ちてしまいます。

必ず、お手入れしてください。

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2～3分おきます。
2. スポンジで床面や床まわりのコーキング材をこすります。

ワンポイント

FRP床は溝の奥にスポンジがあたるようにお掃除します。
溝や表面の微細な凹凸に届きにくい場合は、先割れ加工の浴室用ブラシをお使いください。

3. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

⚠注意

目地やコーキング材を硬いものでこすらないでください。
※切れたり、はがれて漏水する恐れがあります。

目地やコーキング材が切れたり、はがれている場合は、修理を依頼してください。(P.46参照)
※漏水する恐れがあります。
（タイル床のタイル目地は、切れても下に防水パンがあるため、漏水しません。）

タイル床のタイルに割れ、欠け、キズが生じた場合は、修理を依頼してください。
※そのまま使用するとケガをする恐れがあります。

お願い

銀イオン配合の洗剤を使う場合は、「毎日」のお掃除をした後にご使用ください。
※洗剤成分が変色して取れなくなる恐れがあります。

FRP床表面は水はけの良い形状になっていますが、一部に水滴が残る場合があります。
●床が乾きはじめた後に滴下した水滴。
●床周囲の平面部の水滴。
●浴室用イスや洗面器等の接触部分。
●床（溝）が汚れていたり、換気が不十分な場合、等。
※乾いた布等でふきとっておくと乾燥に時間がかかりません。

タイル床の表面は滑りにくいように凹凸仕上げになっていて水が残りやすいため、乾いた布等でふきとります。

汚れが目立ってきたら

洗い場コーナー付近等に、黒ずんだ汚れが付き、浴室用合成洗剤（中性）やカビ取り剤で取り除くことができない場合があります。

そのような場合は、先割れ加工の浴室用ブラシを使い、かき出すようにすると取り除くことができます。

◆床まわりのコーキング材・タイル床の目地のお手入れ（カビが生えているときは）

汚れが目立ってきたら

コーキング材にカビが生えているときは、カビ取り剤をお使いください。

※カビ取り剤や防カビ剤を使用する場合は以下の点に気をつけて正しくお使いください。
●注意書きをよく読みます。
●マスク、ゴム手袋、保護メガネを着用し、窓を開けるか換気扇を回してください。
●肩より高い場所にはカビ取り剤を直接スプレーしないでください。
●長時間放置したり、洗剤を残さないでください。

◆キレイ床について

●キレイ床について

キレイ床はお掃除しやすい形状に加えて、表面処理により汚れを落としやすくしてあり、お掃除が楽にできます。

お願い

カビ取り剤は長時間放置したり、洗剤の洗い残しがないようにしてください。
※変色や変質の恐れがあります。

酸性、アルカリ性の洗剤・洗浄剤（カビ取り剤を除く）は使用しないでください。
※変色や変質の恐れがあります。

ワンポイント

キレイ床は、汚れが付かない商品ではありません。「毎日」(P.11～12)、「週に1回」、「汚れが目立ってきたら」（上記）のお掃除は必ず行ってください。

⑨ 床排水トラップ

⚠注意

🚫 排水トラップのフランジは、ゆるめないでください。
※漏水の恐れがあります。

排水トラップとは排水管の一部に水をためて、臭気や害虫の侵入を防ぐ装置です。
中に水がたまっている（封水といいます）のが正常な状態です。

◆くるりんポイ排水口について

●くるりんポイ排水口について

排水トラップ内に浴槽排水が流れ込む勢いにより「うず流」を起こします。

- ●「うず流」でヘアキャッチャーの目詰まり、ヌメリのもとを減らします。
- ●「うず流」で髪の毛等を捨てやすくします。

※浴槽排水しない場合は「うず流」は発生しません。

※水位が低い場合（約150mm以下）等は、十分な効果が得られないことがあります。

※浴槽の水位が高い状態で排水した場合は、一時的に床排水マスに排水がたまり、ゴミ等を集めます。

※排水条件によっては「うず流」が持続しない場合がありますが、浴槽排水直後の「うず流」でゴミをまとめる効果はあります。

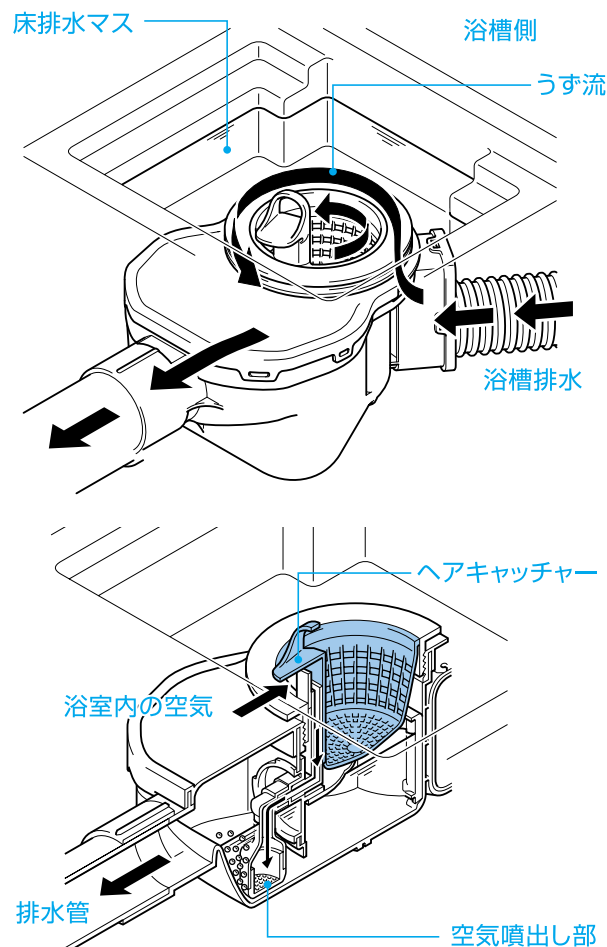
ワンポイント

くるりんポイ排水口は汚れが付かない商品ではありません。「週に1回」、「月に1回」等のお掃除は必ず行ってください。

●給気構造について

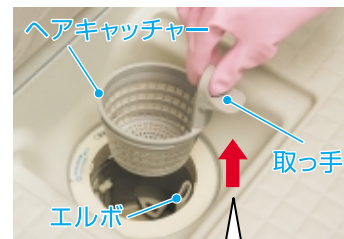
浴槽排水すると、トラップの水（封水）が減少したり、異音がすることがあります。
これは封水が排水管側に引かれるためです。

くるりんポイ排水口は、このような場合に浴室内の空気を排水管へ取り込み、封水の減少や異音を抑えます。

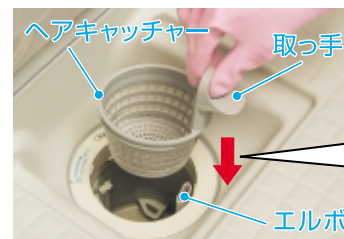
※空気を取り込むときに音がしますが、異常ではありません。
※ご使用状況、排水管の経路によっては空気を取り込まない場合もあります。

◆ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲のお手入れ

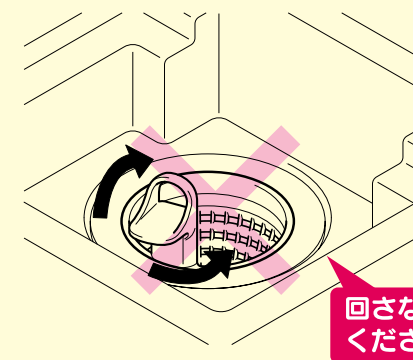
必ず、お手入れしてください。

1. 目皿を外し、排水トラップ周囲や目皿に水をかけながらスポンジでお掃除します。

2. ヘアキャッチャーを真上に引き抜いて取り外します。

3. ヘアキャッチャーのゴミや汚れを落とします。

4. ヘアキャッチャーの取っ手をエルボの位置に合わせて真上から差し込みます。

①エルボと取っ手の位置を合わせます。
②真上から差し込みます。

お願い

ヘアキャッチャーは回さないでください。
回すと外れなくなる恐れがあります。

※ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲に、ゴミがたまったままで使用しないでください。排水が遅くなったり、排水管が詰まる恐れがあります。

※取り除いたゴミ等は直接排水トラップに流さないでください。

ワンポイント

ヘアキャッチャーのゴミは、濡れている方が取り除きやすいため、浴槽のお湯を排水した直後のお掃除をお勧めします。

浴槽
風呂フタ
追いだき口（循環口）
浴槽排水口
浴槽機器
壁
天井
床
床排水トラップ
ドア
鏡
握りバー タオル掛
収納部 カウンター
水栓
照明
換気扇 暖房機

◆トラップ内部のお手入れ

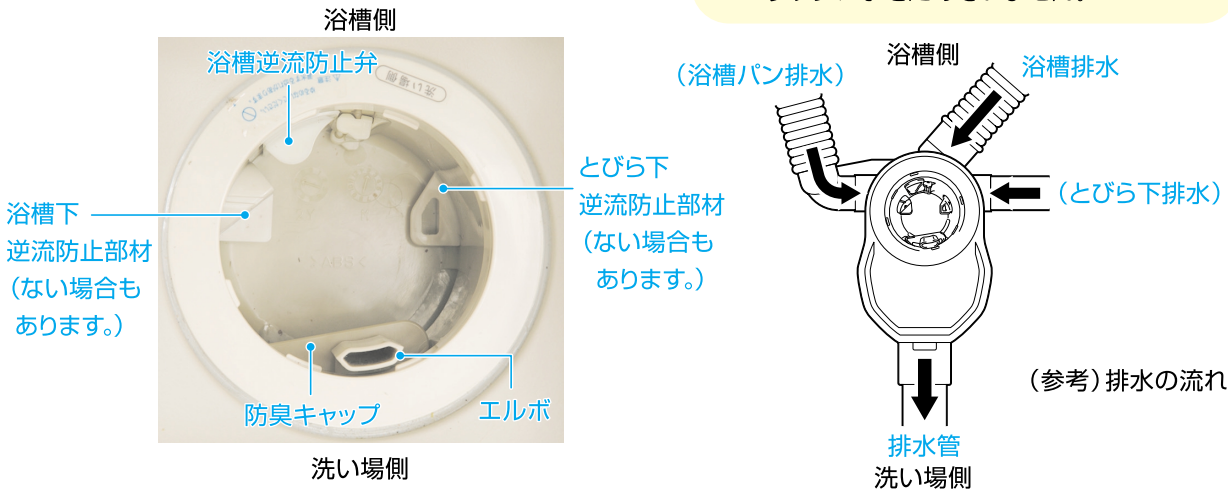
●トラップ内部について

目皿、ヘアキャッチャーを外すと、排水トラップの内部は下図のようになっています。
（逆流防止部材がない場合や位置が異なる場合もあります。）

※各部品が汚れていると漏水や異臭、くるりんポイ排水口の性能が十分に発揮できないことがあります。
※写真は内部を見やすくするため、排水トラップに水をためていません。

浴槽側

洗い場側

浴槽側
（浴槽パン排水）
浴槽排水
（とびら下排水）
排水管
洗い場側
（参考）排水の流れ

浴槽逆流防止弁	:排水が浴槽へ逆流するのを防ぎます。
とびら下逆流防止部材	:排水がとびら下排水口へ逆流するのを防ぎます。（ない場合もあります）
浴槽下逆流防止部材	:排水が浴槽パン排水口へ逆流するのを防ぎます。（ない場合もあります）
エルボ	:浴室内の空気を空気噴出し部へ送ります。
防臭キャップ	:空気噴出し部を備え、排水管の点検口を兼ねています。

●逆流防止部材について

タイプにより、浴槽下逆流防止部材、とびら下逆流防止部材の位置が異なります。

浴槽下逆流防止部材:あり
※とびら下逆流防止部材はない場合があります。

浴槽側
とびら下
逆流防止部材
浴槽下
逆流防止部材
洗い場側

アライン、ラ・バス　テイスト、ラ・バスの場合

エプロン点検口大1か所

浴槽パンあり（BGDW、BGFW、BVDW、BVFWで始まる品番）の場合

浴槽下逆流防止部材:なし
とびら下逆流防止部材:あり
※正面の鏡に向かって左に浴槽がある場合
※正面の鏡に向かって右に浴槽がある場合

浴槽側
とびら下
逆流防止部材
洗い場側

浴槽下逆流防止部材:なし
とびら下逆流防止部材:なし

浴槽側
洗い場側

アライン、ラ・バス　テイスト1216の場合

エプロン点検口大1か所

ラ・バス　テイスト（1216を除く）、ラ・バスの場合

エプロン点検口小2か所

浴槽パンなし（BGDS、BGFS、BVDS、BVFSで始まる品番）の場合

※品番は取扱説明書の表紙裏のページをご参照の上、確認してください。

月に1回

スポンジ

必ず、お手入れしてください。

1 目皿、ヘアキャッチャーを外して、排水トラップ内のエルボ・浴槽逆流防止弁・各逆流防止部材を引き出します。

浴槽側
浴槽下逆流防止部材

浴槽側
とびら下逆流防止部材

※取り外したエルボや浴槽逆流防止弁、各逆流防止部材は流さないようご注意ください。

※各逆流防止部材はツマミを持ってまっすぐ横に引き出します。（斜めに引っ張ると外しにくくなります。）

2 エルボや浴槽逆流防止弁、各逆流防止部材の汚れを落とします。
※エルボの内側は綿棒等でお掃除します。

エルボ

浴槽逆流防止弁

浴槽下
逆流防止部材

とびら下
逆流防止部材

3 **とびら下逆流防止部材がある場合**

とびら下排水口（「ドアのお手入れ」参照）にシャワー等で水をかけて排水管内の汚れを流します。

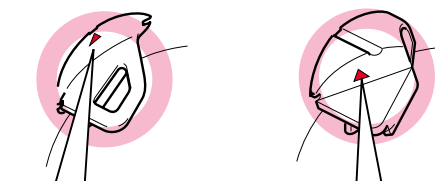
※とびら下排水口・下枠溝のゴミは必ず事前に取り除いてください。詳しくは、ドアのお手入れ（P.28）をご参照ください。
※排水溝より水があふれたり、飛び散ったりしないようご注意ください。

4 排水トラップ内部の汚れをスポンジや歯ブラシ等でお掃除します。

※エルボや浴槽逆流防止弁、逆流防止部材の取り付け穴部分もお掃除します。

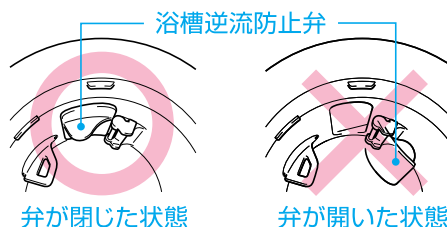
5 お掃除後は、エルボと浴槽逆流防止弁、とびら下逆流防止部材、浴槽下逆流防止部材を取り付けます。

※エルボ、浴槽逆流防止弁、浴槽下逆流防止部材、とびら下逆流防止部材はP.23で取付位置を確認し、止まるまで差し込みます。

※浴槽下逆流防止部材も同様に取り付けます。

※逆流防止部材の【▲マーク】を上にして、凹凸部分を合わせ、止まるまで差し込みます。

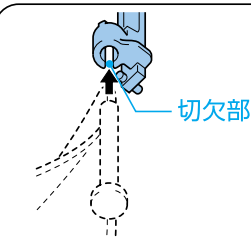
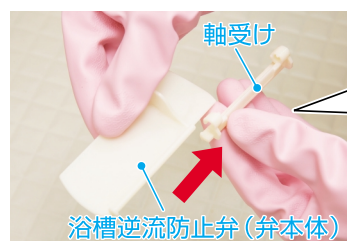
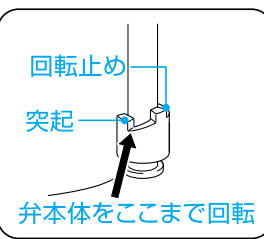
注意

各逆流防止部材は、左図のように差し込んでください。
※正しく差し込まれていないと、とびら下や浴槽下に逆流し漏水する恐れがあります。

6 逆流防止弁を閉じた状態にします。

7 ヘアキャッチャー、目皿を取り付けます。

●浴槽逆流防止弁について

お掃除の際、弁本体が軸受けから外れてしまったら、以下の手順で元に戻します。

1 軸受けの切欠部と弁本体を合わせて軸を差し込みます。

2 最後まで差し込んだら弁本体が突起を越えるまで回します。

※回転止めを越えないようにご注意ください。

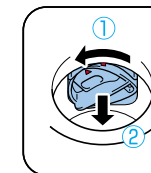
●防臭キャップのお手入れ

汚れが目立ってきたら

排水口から異臭がしてきたり・排水音（異音）が大きくなったと感じた場合

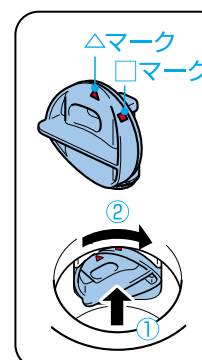
必ず、お手入れしてください。

1 エルボを外します。（P.24参照）

2 防臭キャップを左（反時計回り）に止まるまで回し、取り外します。

3 空気噴出しキャップを左（反時計回り）に回して、取り外します。

※お掃除の際、空気噴出しキャップを流さないようにご注意ください。

4 防臭キャップ、空気噴出しキャップの汚れを歯ブラシ、綿棒等で落とします。

5 お掃除後は、空気噴出しキャップを右（時計回り）に回して防臭キャップに取り付けます。

6 防臭キャップの【□マーク】を上にして穴に差し込み、【△マーク】が上にくるまで右（時計回り）に回し、止めます。

7 エルボ、ヘアキャッチャーを取り付けます。（P.22.25参照）

ワンポイント

お掃除後は、防臭キャップを正しく取り付けてください。排水管の臭いが上がってきたり、「うず流」が発生しなくなります。

※防臭キャップのパッキンが外れたら、右のようにの外周にパッキンを取り付けます。（凸のある面が表になるようにしてください。）